

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：5月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●6月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、5月の訪日外客総数(推計値)は**369万3,300人**であった(前年同月比+21.5%)。中国の労働節(5月1日~5日)やスクールホリデーで訪日旅行需要が高まった影響もあり、同月過去最高値を更新した。また、同月の出国日本人数は107万6,800人であった(同+14.3%)。なお、2019年同月比では-25.1%と、減少幅は前月(同-42.3%)から縮小した。

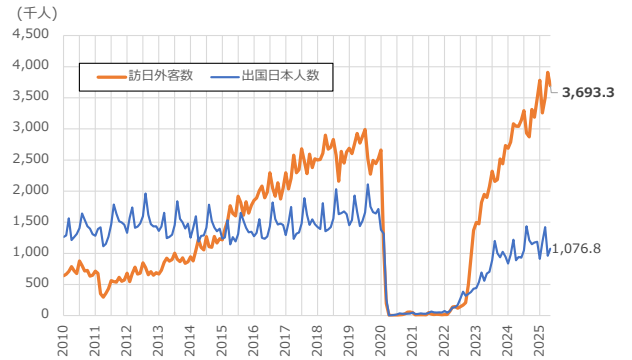
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、5月は**韓国が82万5,800人**(前年同月比+11.8%)と**最多**であった。次いで中国が78万9,900人(同+44.8%)、台湾が53万8,400人(同+15.5%)、米国が31万1,900人(同+26.3%)、香港が19万3,100人(同-11.2%)と続く。なお、他の国が堅調な動きを示す中、香港は2025年に入り、1月と4月を除けばマイナス基調にある。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、3月は**349万7,755人**で、3月として過去最高値を更新した(前年同月比+13.5%)。うち、**観光客は314万9,434人**(同+13.7%)、**その他客**は23万8,972人(同+16.1%)、**商用客**は10万9,349人(同+4.2%)であった。

▶大阪・関西万博の折り返しを迎え(7/13日)、累計一般来場者数は1,027万9,824人となり、1,000万人を超えた。関西自治体は、万博来場者を自府県へ誘客するための施策を積極的に実施している。今回は、奈良県、和歌山県、徳島県、三重県に続き、滋賀県の事例を取り上げてみよう。

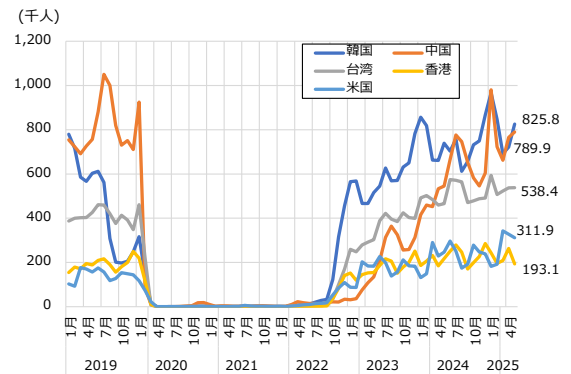
▶滋賀県では、**観光キャンペーンとして「いこうぜ 滋賀・びわ湖」を2024年9月21日から2025年10月31日まで実施**している(詳細はURLを参照 <https://goshiga.biwako-visitors.jp/>)。具体的な施策内容としては、(1)県内の観光地と万博会場を連動させたデジタル周遊企画、(2)東海道新幹線と宿泊をセットにした旅行商品の造成である。(1)については、万博会場(関西パビリオンの滋賀県ブース)と彦根城などの観光地でそれぞれデジタルスタンプを入手すると、特別なデジタルスタンプ(NFT: Non-Fungible Token)が入手可能である。(2)については、6月23日から10月13日まで発売される首都圏を出発とした旅行商品であり、びわ湖周遊クルーズや彦根城の観覧など現地体験プランも選択可能となっている。こうした観光キャンペーンによって万博からの誘客のみならず、首都圏からの誘客の促進も意図しているのが特徴的である。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



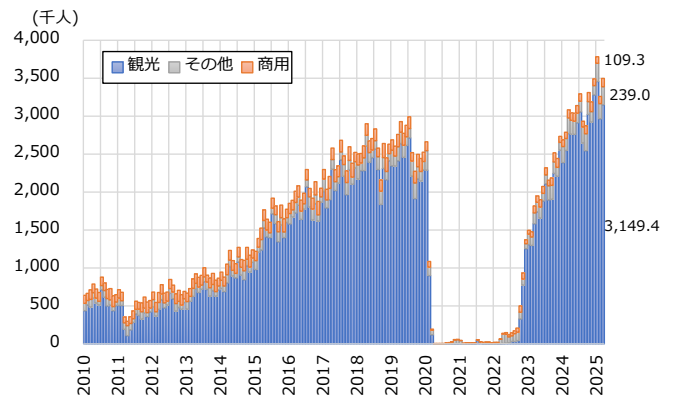
注：2023年まで確定値、24年、25年2月は暫定値、25年3-4月は推計値
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している。
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



注：目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待つて今後再開する予定である。

トピックス 1

●5月関西の財貨・サービス貿易及びサービス産業動向

▶ 関西 5月の輸出額は前年同月比+0.8%と小幅ながら**8カ月連続で増加**した(前月：同+6.0%)。一方、輸入額は同-2.6%と3カ月ぶりの減少となった(前月：同+7.8%)。結果、**関西の貿易収支は+1,634億円と4カ月連続の黒字となり、黒字幅は同+51.1%と3カ月ぶりに拡大**した(前月：同-9.7%)(図4)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西5月の対中輸出は前年同月比-4.6%と2カ月ぶりに減少**した(前月：同+3.0%)。輸出減に寄与したのは半導体等電子部品や映像機器等であった。一方、**対中輸入は同+2.0%と3カ月連続の増加**(前月：同+14.8%)。輸入増に寄与したのはがん具及び遊戯用具や事務用機器等であった。

▶ 5月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は**95万3,902人**となり、**5月として過去最高値を更新**した(前年同月比+19.4%)。同月の日本人出国者数は20万3,108人であった。前年同月比+15.6%と**増加幅は前月(同+9.3%)から拡大**した。なお、2019年同月比では-28.3%となり、**アウトバウンド需要の回復ペースは依然緩慢**である。

▶ サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数**(季節調整済み：2019-20年平均=100)をみれば(図7)、5月は104.4で前月比+0.6%と2カ月連続のプラスとなった(前月：同+0.5%)。また、**対面型サービス業指数***は107.0で同+2.6%と、3カ月ぶりのプラス(前月：同-1.4%)。うち、運輸業、郵便業(同+6.4%、2カ月ぶり)や宿泊業、飲食サービス業(同+3.4%、3カ月ぶり)が上昇に寄与した。**4-5月平均を1-3月平均と比較すると**、第3次産業活動指数は-0.0%(1-3月期：前期比+1.4%)、対面型サービス業指数は-0.5%(1-3月期：同+1.8%)、それぞれ小幅ながら低下した。

▶ 5月の**観光関連指数****(季節調整済み：2019-20年平均=100)は(図7)、114.0と前月比+3.6%上昇し、3カ月ぶりのプラスとなった(前月：同-1.9%)。うち、劇場・興行団(同+20.7%、3カ月ぶり)や宿泊業、飲食サービス業が上昇に寄与した。4-5月平均の観光関連指数は1-3月平均比-1.8%低下した(1-3月期：前期比+3.5%)。

*対面型サービス業は、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「学習支援業」及び「医療、福祉」を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、「旅客運送業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「旅行業」、「映画館」、「劇場・興行団」及び「公園、遊園地・テーマパーク」の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

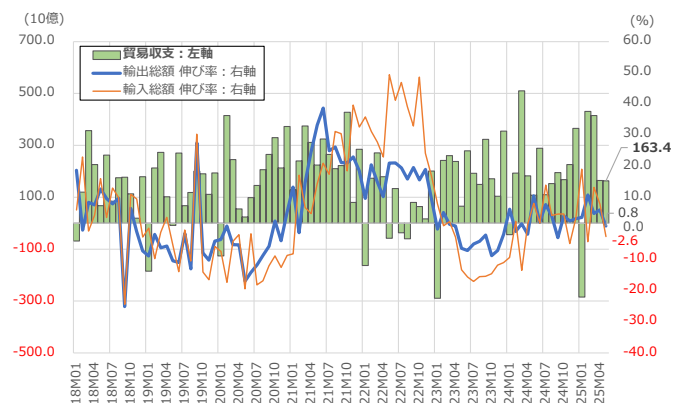
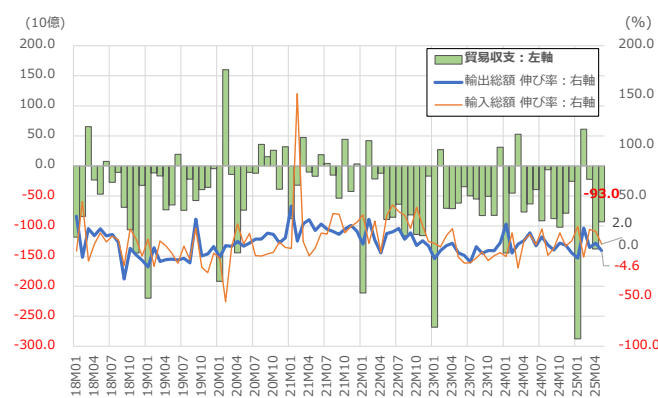
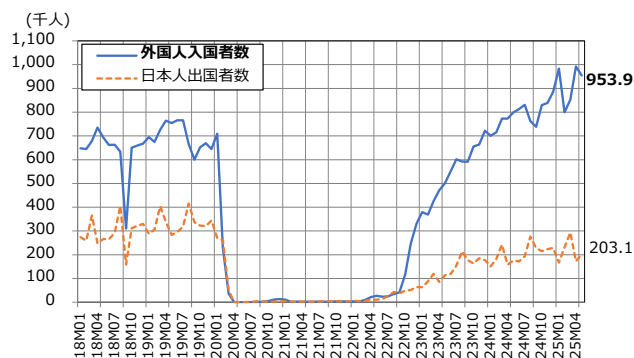


図5 関西 対中貿易の推移



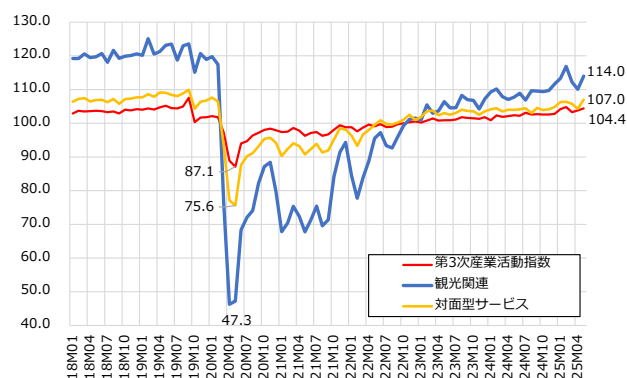
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所：出入国管理統計より筆者作成。2025年5月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2019-20年平均=100



出所：経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●3月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、3月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は12,125.1千人泊であった(表1)。前年同月比では+4.0%と2021年11月以来増加しており、増加幅は前月(同+1.5%)から拡大した。

▶日本人延べ宿泊者数は8,209.1千人泊となった。前年同月比+2.1%と2カ月ぶりに増加した(前月：同-4.1%)(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府3,006.1千人泊、京都府1,299.4千人泊、兵庫県1,324.1千人泊、三重県824.7千人泊、和歌山県403.9千人泊、滋賀県386.4千人泊、福井県323.7千人泊、奈良県237.5千人泊、徳島県207.8千人泊、鳥取県195.6千人泊であった。関西の前年同月比(+2.1%)に対する寄与度をみれば、大阪府(同+3.4%ポイント)、三重県(同+1.2%ポイント)や福井県(同+0.5%ポイント)等、7府県が増加に寄与した。一方、減少に寄与したのは、京都府(同-2.2%ポイント)、兵庫県(同-1.3%ポイント)と鳥取県(同-0.4%ポイント)である。特に京都府では2025年1月を除けば23年9月以降、前年比2桁減少が続いており、日本人宿泊者数の低迷が続いている。

▶外国人延べ宿泊者数は3,916.0千人泊となった(表1及び図9)。前年同月比+8.2%と36カ月連続の増加だが、増加幅は前月(同+14.6%)から縮小し、1桁の伸びにとどまった。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府1,994.6千人泊、京都府1,567.1千人泊、兵庫県131.7千人泊、和歌山県74.0千人泊、奈良県44.0千人泊、三重県28.9千人泊、滋賀県28.7千人泊、徳島県25.4千人泊、鳥取県12.4千人泊、福井県9.2千人泊であった。なお、徳島県の延べ宿泊者数は単月過去最高値を更新。前年同月比への寄与度をみれば、京都府(同+3.8%ポイント)、大阪府(同+3.8%ポイント)、和歌山県(同+0.5%ポイント)等、滋賀県(同-0.8%ポイント)を除く9府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019年=100)をみれば、2025年5月は64.1となった。前年同月比-6.2%と26カ月連続の悪化。依然として日本人宿泊者にとっては厳しい状況が依然続いている(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

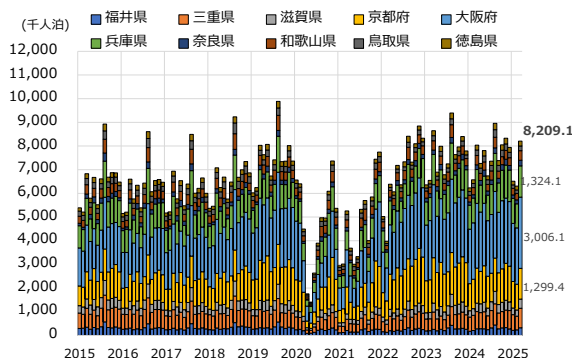


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

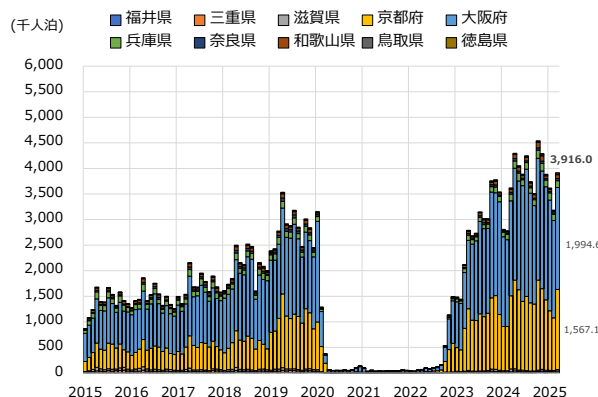
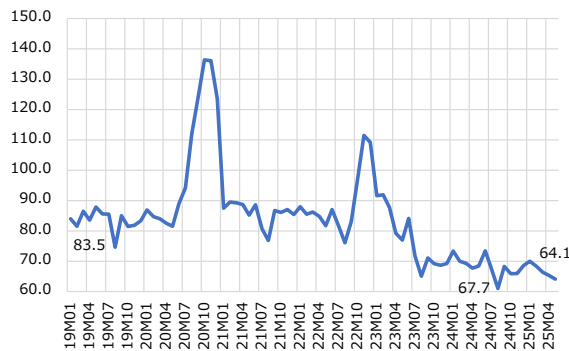


図10 宿泊料金と賃金の交易条件
(現金給与総額/宿泊料金)



注：宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的關係をみている。2019年平均を100。

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：3月

2025年3月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	前年比伸び率：当月(%)	前年比伸び率：前月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	前年比伸び率：当月(%)	前年比伸び率：前月(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	前年比伸び率：当月(%)	前年比伸び率：前月(%)
福井県	332.9	15.2	13.7	323.7	14.7	11.8	9.2	37.2	92.2
三重県	853.6	15.1	-9.2	824.7	13.8	-9.6	28.9	67.4	6.8
滋賀県	415.2	0.1	-6.7	386.4	8.1	-6.6	28.7	-49.8	-7.9
京都府	2,866.5	-1.4	0.6	1,299.4	-12.2	-12.5	1,567.1	9.8	19.2
大阪府	5,000.7	8.9	4.9	3,006.1	9.9	-0.3	1,994.6	7.4	12.2
兵庫県	1,455.7	-6.6	-0.8	1,324.1	-7.3	-2.2	131.7	0.6	13.0
奈良県	281.5	19.3	16.6	237.5	18.6	13.2	44.0	23.3	41.5
和歌山県	477.9	5.5	-7.5	403.9	2.0	-9.0	74.0	30.0	9.2
鳥取県	208.0	-13.1	-13.5	195.6	-14.6	-15.0	12.4	20.9	12.1
徳島県	233.3	2.9	5.9	207.8	0.4	3.6	25.4	29.5	47.9
関西2府4県	10,497.4	3.3	2.3	6,657.3	0.9	-3.9	3,840.1	7.7	14.4
関西2府8県	12,125.1	4.0	1.5	8,209.1	2.1	-4.1	3,916.0	8.2	14.6
全国	55,507.3	0.7	0.2	40,692.2	-3.4	-5.9	14,815.0	14.1	19.5

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8~9及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2025年1-3月期訪日外国人訪問率と消費単価：関西

▶観光庁によれば、2025年1-3月期における関西各府県の訪問率をみると(図11)、大阪府37.6%が最も高く、次いで京都府26.7%、奈良県6.9%、兵庫県4.8%、和歌山県0.6%、滋賀県0.6%、三重県0.6%、鳥取県0.2%、徳島県0.2%、福井県0.1%と続く。前年同期と比較すると(表2)、大阪府+1.4%ポイント、滋賀県+0.2%ポイント、鳥取県、徳島県+0.0%ポイントと、それぞれ上昇した。一方、奈良県-0.8%ポイント、京都府-0.6%ポイント、三重県-0.2%ポイント、兵庫県-0.1%ポイント、和歌山県-0.1%ポイント、福井県-0.0%ポイントといずれも低下となった。

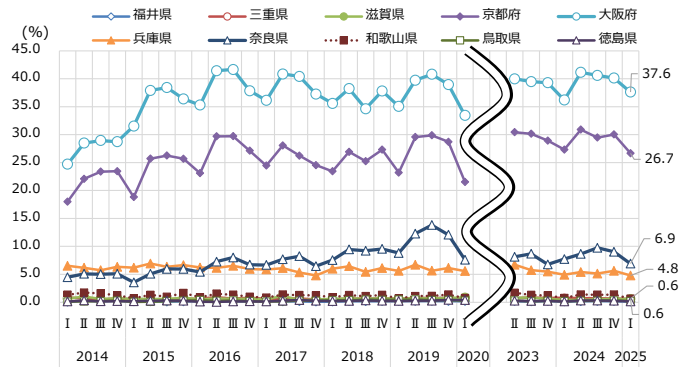
▶当該期間の各府県の訪問率に訪日外客数を乗じて推計した関西における訪日外客数をみよう。2025年1-3月期の訪問者数を降順にみれば(表2)、大阪府396万3,569人(前年同期比+27.9%)と最も多く、次いで京都府281万1,790人(同+20.2%)、奈良県72万8,536人(同+10.1%)、兵庫県50万4,269人(同+20.0%)、和歌山県6万8,033人(同+3.5%)、滋賀県6万2,880人(同+73.3%)、三重県6万614人(同-11.1%)、鳥取県2万2,909人(同+38.5%)、徳島県1万6,281人(同+45.3%)、福井県1万2,867人(同+9.9%)と続く。

▶観光庁によれば、2025年1-3月期の関西における訪日外国人消費単価(旅行者1人1回当たりの旅行消費金額)をみると(表3)、関西2府4県では前年同期比+21.3%増加した。費目別にみれば、買物代(同+26.5%)、飲食費(同+21.3%)、宿泊費(同+15.3%)が大幅増加した。

▶観光庁によれば、2025年1-3月期の関西における訪日外客消費額は5,464億円となり(表3)、前年同期比+47.8%増加した(24年10-12月期：同+39.2%)。同期の全国の消費額*は2兆2,803億円、同+28.8%となり(24年10-12月期：同+36.5%)、関西は全国の伸びを上回った。

*全国の消費額については本レポートNo.67を参照。

図11 訪日外国人訪問率の推移：関西2府8県



出所:観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成。

表2 訪日外客の訪問率と人数：関西2府8県

府県ベース	24Q1	25Q1	前年差	単位:%、人			
				府県ベース	24Q1	25Q1	前年比伸比率
福井県	0.1	0.1	-0.0	福井県	11,708	12,867	9.9
三重県	0.8	0.6	-0.2	三重県	68,177	60,614	-11.1
滋賀県	0.4	0.6	0.2	滋賀県	36,288	62,880	73.3
京都府	27.3	26.7	-0.6	京都府	2,338,366	2,811,790	20.2
大阪府	36.2	37.6	1.4	大阪府	3,097,820	3,963,569	27.9
兵庫県	4.9	4.8	-0.1	兵庫県	420,358	504,269	20.0
奈良県	7.7	6.9	-0.8	奈良県	661,485	728,536	10.1
和歌山県	0.8	0.6	-0.1	和歌山県	65,712	68,033	3.5
鳥取県	0.2	0.2	0.0	鳥取県	16,544	22,909	38.5
徳島県	0.1	0.2	0.0	徳島県	11,203	16,281	45.3

運輸局ベース	24Q1	25Q1	前年比伸比率	単位:%、人			
				運輸局ベース	24Q1	25Q1	前年比伸比率
北海道	9.4	10.8	1.3	北海道	808,477	1,137,658	40.7
関東	53.6	52.6	-1.1	関東	4,588,930	5,538,338	20.7
中部	10.2	10.4	0.3	中部	870,030	1,099,796	26.4
近畿	39.1	40.1	1.1	近畿	3,343,757	4,230,830	26.5
九州	11.9	11.1	-0.8	九州	1,022,328	1,172,233	14.7

出所:JNTO『訪日外客統計』及び観光庁『インバウンド消費動向調査』より推計。

表3 費目別訪日外国人消費単価の比較：関西2府4県

	消費単価	費目別(7区分)						
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービスマネージメント	買物代	その他	
2024年1-3月期 (万円/人)	滋賀県	3.1	1.1	1.1	0.0	0.1	0.4	0.0
	京都府	4.3	1.7	1.1	0.1	0.2	1.0	0.0
	大阪府	8.3	2.4	1.8	0.2	0.5	3.1	0.0
	兵庫県	3.0	1.0	1.0	0.1	0.1	0.7	0.0
	奈良県	0.9	0.2	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	3.4	1.4	0.8	0.1	0.1	0.3	0.0
	2府4県	5.7	1.8	1.4	0.2	0.3	1.9	0.0
2025年1-3月期 (万円/人)	滋賀県	3.4	1.1	0.9	0.1	0.6	0.5	0.0
	京都府	4.9	1.9	1.4	0.2	0.2	1.1	0.0
	大阪府	9.9	2.7	2.2	0.2	0.5	3.8	0.0
	兵庫県	4.2	1.4	1.3	0.1	0.1	1.2	0.0
	奈良県	1.1	0.2	0.3	0.0	0.1	0.4	0.0
	和歌山県	4.6	1.8	1.2	0.2	0.1	0.9	0.0
	2府4県	6.9	2.1	1.7	0.2	0.3	2.4	0.0
前年度比(%)	滋賀県	7.1	-4.7	-19.8	197.7	492.1	33.9	-
	京都府	15.0	12.6	21.0	26.1	-10.4	15.0	-
	大阪府	19.2	12.4	18.5	-14.2	6.2	22.5	-
	兵庫県	40.8	41.9	24.6	23.3	-9.1	82.3	-
	奈良県	25.3	7.0	18.7	34.7	-39.4	87.4	-
	和歌山県	35.0	29.9	48.6	144.9	-47.1	165.4	-
	2府4県	21.3	15.3	21.3	1.8	4.6	26.5	-

訪日外客消費額	24年1-3月期 (万円)	25年1-3月期 (万円)	前年同期比 (%)
関西2府4県	36,968,807	54,648,182	47.8
全国	168,310,000	229,690,000	36.5

(注)全目的ベース。2023年、24年は確報(上図も同様)。消費単価にはパッケージ参加費が含まれる。

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査 参考表都道府県別集計』より作成。

表4 2025年5月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	5月	5月		1月~5月	1月~5月	
総数	3,040,294	3,693,300	21.5	14,641,780	18,140,100	23.9
総数(中国除く)	2,494,742	2,903,400	16.4	12,234,541	14,219,800	16.2
韓国	738,872	825,800	11.8	3,738,834	4,053,600	8.4
中国	545,552	789,900	44.8	2,407,239	3,920,300	62.9
台湾	466,008	538,400	15.5	2,404,710	2,699,700	12.3
香港	217,486	193,100	-11.2	1,025,503	1,104,300	7.7
タイ	97,408	108,100	11.0	563,706	628,400	11.5
シンガポール	62,676	63,300	1.0	241,102	276,600	14.7
マレーシア	39,562	51,700	30.7	219,755	295,900	34.6
インドネシア	41,274	52,300	26.7	220,770	284,600	28.9
フィリピン	67,443	82,700	22.6	336,756	384,900	14.3
ベトナム	50,575	59,200	17.1	284,440	311,700	9.6
インド	29,068	43,000	47.9	102,009	142,400	39.6
豪州	66,476	78,900	18.7	400,174	507,800	26.9
米国	246,972	311,900	26.3	1,046,521	1,356,200	29.6
カナダ	55,811	66,300	18.8	231,275	293,800	27.0
メキシコ	11,514	15,100	31.1	53,261	71,600	34.4
英国	39,120	52,100	33.2	189,663	237,500	25.2
フランス	38,159	46,000	20.5	161,175	182,600	13.3
ドイツ	32,196	42,300	31.4	141,042	178,900	26.8
イタリア	17,443	25,000	43.3	81,126	115,900	42.9
スペイン	13,417	20,800	55.0	53,028	80,100	51.1
ロシア	8,004	19,200	139.9	35,480	71,800	102.4
北欧地域	11,906	15,500	30.2	59,294	76,100	28.3
中東地域	14,009	23,200	65.6	61,152	98,400	60.9
その他	129,343	169,500	31.0	583,765	767,000	31.4

表5 2025年3月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)	2024年	2025年	伸率 (%)
	3月	3月		3月	3月		3月	3月		3月		
総数	3,081,781	3,497,755	13.5	2,771,105	3,149,434	13.7	104,919	109,349	4.2	205,757	238,972	16.1
韓国	663,102	691,725	4.3	628,059	654,924	4.3	16,079	15,062	-6.3	18,964	21,739	14.6
中国	452,525	661,817	46.2	359,995	548,863	52.5	21,302	25,407	19.3	71,228	87,547	22.9
台湾	484,454	522,886	7.9	468,420	504,743	7.8	8,266	8,378	1.4	7,768	9,765	25.7
香港	231,373	208,369	-9.9	226,880	203,330	-10.4	2,138	2,225	4.1	2,355	2,814	19.5
タイ	131,749	148,226	12.5	126,021	141,851	12.6	2,589	2,938	13.5	3,139	3,437	9.5
シンガポール	61,047	65,297	7.0	58,360	62,450	7.0	2,179	2,176	-0.1	508	671	32.1
マレーシア	41,953	53,109	26.6	39,015	50,366	29.1	1,326	1,192	-10.1	1,612	1,551	-3.8
インドネシア	37,448	60,599	61.8	28,069	49,315	75.7	1,085	1,003	-7.6	8,294	10,281	24.0
フィリピン	78,821	72,333	-8.2	68,141	60,408	-11.3	5,571	5,541	-0.5	5,109	6,384	25.0
ベトナム	67,475	64,123	-5.0	20,435	17,854	-12.6	3,219	3,299	2.5	43,821	42,970	-1.9
インド	27,206	32,967	21.2	19,533	24,030	23.0	4,348	5,079	16.8	3,325	3,858	16.0
豪州	82,781	84,761	2.4	79,903	81,465	2.0	1,947	2,090	7.3	931	1,206	29.5
米国	290,075	342,752	18.2	272,462	324,164	19.0	11,492	11,745	2.2	6,121	6,843	11.8
カナダ	57,779	68,083	17.8	55,826	65,841	17.9	1,062	1,095	3.1	891	1,147	28.7
メキシコ	15,472	14,612	-5.6	14,810	13,969	-5.7	308	287	-6.8	354	356	0.6
英国	56,450	58,140	3.0	51,821	53,188	2.6	3,112	3,032	-2.6	1,517	1,920	26.6
フランス	34,685	36,478	5.2	30,265	32,145	6.2	2,388	2,033	-14.9	2,032	2,300	13.2
ドイツ	47,553	48,064	1.1	43,579	43,984	0.9	2,665	2,601	-2.4	1,309	1,479	13.0
イタリア	24,394	25,494	4.5	22,168	22,969	3.6	1,506	1,548	2.8	720	977	35.7
ロシア	10,579	18,823	77.9	9,403	17,497	86.1	551	597	8.3	625	729	16.6
スペイン	16,797	17,826	6.1	15,732	16,653	5.9	633	705	11.4	432	468	8.3
中東地域	11,876	24,077	102.7	10,590	22,563	113.1	847	945	11.6	439	569	29.6
その他	156,187	177,194	13.4	121,618	136,862	12.5	10,306	10,371	0.6	24,263	29,961	23.5

注：目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。

出所：日本政府観光局(JNTO)、2025年6月18日付より筆者加工